

2025年度
ヨーロッパ研修旅行報告書

学年	専攻 (楽器等名)	留学先
院1	ピアノ(伴奏)	ロンドン ギルドホール音楽演劇学校 パリ エコールノルマル音楽院
実施概要・研修で得た成果等(具体的に)		
<p>今回のヨーロッパ研修旅行を通して、音楽は単なる技術ではなく、その土地の文化や人々の価値観と深く結びついているものであることを強く実感した。また、ギルドホール音楽院及びエコール・ノルマル音楽院でのレッスンでは、通訳を介しながらも国外の先生から直接指導を受け、自分の理解力や表現力を試す機会となった。自分自身の力不足で言葉の壁を感じる場面もあったが、それ以上に音楽そのものが持つ力によって意思疎通が可能であることを実感したため今回を機に恐れずにコミュニケーションをとる機会を自ら挑戦してみたいと思った。</p> <p>イギリスでは、合理的で無駄のない社会システムが印象的であった。また、英語で会話ができるため比較的安心感があった。セント・ポール大聖堂で聞いた聖歌隊の賛美歌は、この研修の中でも特に心に残っている。広大な空間に響く澄んだ音は、雑念を消し去り、ただ音そのものの美しさだけが存在しているように感じられた。仕事終わりと思われる人々が自然にその場に集い、音楽に耳を傾けている姿から、音楽が生活の一部として人々の心を支えていることを実感した。また人々の温かさにも触れ、再び訪れたいと強く感じた。</p> <p>フランスでは、街そのものが芸術の一部であるように感じられた。人々が日常の中で美しさを大切にしている様子はレッスンでも感じ、技術はもちろんそれ以上に表現や感性が重視されていたと思う。教えていただいた先生によっても違うのかもしれないが、より一層「芸術の美しさ」として追求し学んでいた感じがした。</p> <p>今回、エルガーの作品を現地で演奏したことは、自分にとって大きな意味を持つ経験となった。実際にその土地の空気や街並み、文化に触れることで、作曲家がどのようなインスピレーションを受けどのような思いで音に書き起こしどのような音楽を創り出したのかをより深く考えるようになった。音楽を学び続ける上で、その背景を考え続けること自体が、後世を生きる私達が今できることであり、作曲家への敬意と感謝の表れであると感じている。1つの答えを探すのではなく、様々な視点から考えもつと広い視野で自分なりの音楽を解釈を捉えることが出来るようになりたい。</p> <p>また、現地での交流を通して、日本に対する関心や好意を直接感じる場面も多くあった。外から日本を見ることで、自国の文化の独自性や魅力に気づき、それを誇りに思うと同時に、より深く理解し発信していく必要性を感じた。さらに、初対面であった参加者とも8日間を共に過ごす中で強い絆が生まれた。学年や専攻を越えて互いに支え合いながら過ごした時間も、今回の研修の大きな財産である。この研修で得た経験は、今後の音楽人生において大きな指針となるものである。異なる文化の中で得た視点を大切にしながら、自分自身の音楽表現をより深めていきたい。</p>		

2025年度
ヨーロッパ研修旅行報告書

学年	専攻 (楽器等名)	留学先
2	声楽専攻(声楽芸術コース)	ロンドン ギルドホール音楽演劇学校 パリ エコールノルマル音楽院
実施概要・研修で得た成果等(具体的に)		
<p>本研修旅行は、ヨーロッパ(ロンドン・パリ)における音楽研修として、現地でのレッスンや演奏会への参加、文化施設の見学等を通じて、音楽的視野を広げることを目的として実施されたものである。私にとっては初めての海外渡航でもあり、空港に向かう時から大きな期待と高揚感に包まれていた。ヨーロッパに到着し街に出ると、歴史を感じさせる美しい建物が立ち並び、その景観の中を歩くだけで特別な気持ちになった。日常とは異なる環境に身を置くことで、感性が大きく刺激される貴重な経験となった。</p> <p>また、今回の研修は一人で参加することを決めたため、当初は不安や緊張も大きかった。しかし、その分これまであまり話したことのなかった同級生や先輩方と関わる機会が増え、交流を深めることができた。素敵な仲間と出会い、絆を築くことができた。さらに、引率して下さった先生方の支えもあり、安心して研修に取り組むことができた。現地でのレッスンでは、呼吸の使い方や舌の位置、顎の使い方などについてご指導いただき、自分では気づくことのできなかった癖や課題を再認識することができた。また、それらを改善するための具体的な方法も学ぶことができ、非常に有意義な時間であった。</p> <p>一方で、演奏会当日のリハーサル中には体調を崩し、不安を感じる場面もあった。これまで経験したことのない状況に戸惑いもあったが、先輩方や同級生の演奏を聴く中で次第に気持ちが落ち着き、「自分も精一杯演奏しよう」と前向きな気持ちで本番に臨むことができた。本番では、日本でのリハーサル時よりも伸びやかに歌うことができたと実感した。また、仲間の演奏に触れる中で、音楽は人と人の心をつなぐ力を持っているということを改めて強く実感した。</p> <p>さらに、英語が世界共通の言語であることを肌で感じ、今後は英語力を高め、より多くの人と円滑にコミュニケーションを取れるようになる必要があると考える。機内での時間や食事も含め、すべての経験が新鮮で心に残るものであり、充実した日々を過ごすことができた。</p> <p>今回の研修はまるで夢のような時間であり、今後の自分にとって大きな糧となる貴重な経験となった。これからも歌と真摯に向き合い、再び海外で演奏することを目標に夢に向かって努力を重ねてきたい。</p>		